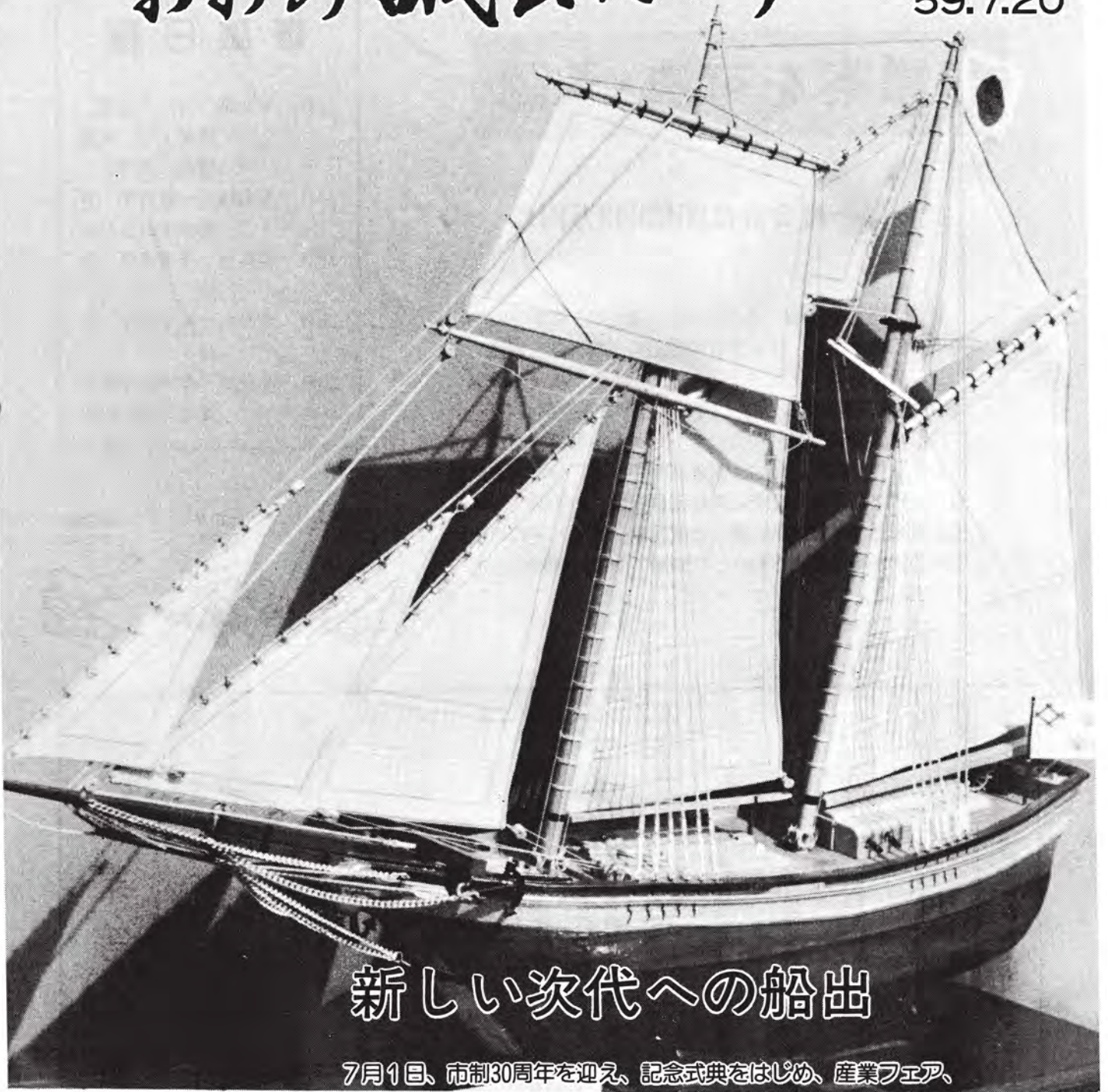


おおの議会だより

No. 58

59.7.20



新しい次代への船出

7月1日、市制30周年を迎え、記念式典をはじめ、産業フェア、カーニバルなどの行事を盛大に繰り広げ、祝賀気分にあふれた。この日は、当市にとって大きな節目であり、これを契機にさらに躍進しなければならない。

われわれは、先人がはるか蝦夷^{えぞ}地の開拓を目指して建造した“大野丸”に象徴される、進取の気象を受け継ぎ、新しい次代に向けて自らの道を、自らが選択しなければならない。

11議案を可決・承認

一般会計は95億643万円に

第212回定例会市議会は6月15日招集され、会期を22日までの8日間と定め、理事者から提出の議案9件を審議しました。その結果「昭和59年度大野市一般会計補正予算案」「農村婦人の家設置条例の一部を改正する条例案」「下庄小学校校舎改築請負契約について」など、全議案を可決・承認しました。最終日には、議員提案による「第9次道路整備5カ年計画の完全達成に関する意見書」と「昭和59年産生産者米価と米穀政策に関する意見書」をそれぞれ可決。市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決めました。

6月定例会

審議日程

- 15日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 18日 本会議（一般質問、各案件委員会付託）
- 19日 委員会（産業経済、建設）
- 20日 委員会（教育民生、総務）
- 22日 本会議（各委員長報告 質疑、討論、採決）

市の花
(こぶし)



市の木
(けやき)



市の鳥
(うぐいす)



議案等の審議結果	
議案番号	件名
第二十八号	昭和五十九年度大野市一般会計補正予算（第一号）案
第二十九号	昭和五十九年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）案
第三十号	昭和五十九年度大野市南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第一号）案
第三十一号	農村婦人の家設置条例の一部を改正する条例案
第三十二号	バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例案
第三十三号	下庄小学校校舎改築工事請負契約について
第三十四号	専決処分の承認を求めることについて（五十八年度一般会計補正予算（第八号））
第三十五号	専決処分の承認を求めることについて（市税賦課徴収条例）
第三十六号	専決処分の承認を求めることについて（国保税条例）
市会案第二号	第九次道路整備五カ年計画の完全達成に関する意見書
市会案第三号	昭和五十九年産生産者米価と米穀政策に関する意見書
第三十七号	大野市図書館新築工事請負契約について
七月臨時会	
議案番号	結果
第二十八号	原案可決
第二十九号	"
第三十号	"
第三十一号	"
第三十二号	"
第三十三号	承認
第三十四号	"
第三十五号	"
第三十六号	"
市会案第二号	原案可決
市会案第三号	"
第三十七号	原案可決

市政をきく 一般質問から

長期構想の見直しと公共施設の配置計画の樹立

問 基本構想と基本計画から成っている現在の総合計画は、昭和55年度に作られたものであるが、以来4年間に国際情勢や経済情勢が激しく変動し、行政面に様々な問題を生じさせている。これを見直す時期に来ているのではないか。

また、公共施設の建設や都市計画を進める上で、土地の先行取得は必要と思うが、あくまでも長期的な計画に基づくものでなければならない。理事者の考え方を聞きたい。

答 現在の基本構想は65年を目途として10年間の構想を定めたものである。指摘のとおり、その後経済状況の変化、高齢化社会への進行、行財政の見直し等によって社会状況が大きく変化している。

長期計画の見直しが60年となっているが、1年早めて今年から着手したい。基本構想についても部分的に見直しを行わなければならないと思う。

公共施設の配置のためには、土

地を先行取得しなければならない場合もあるが、あくまで利用目的がはっきりしたものについて取得すべきであると考えている。

産業廃棄物の 処理について

問 繊維・縫製・撚糸関係の廃棄物や、自動車機械整備関係の廃油等については、現在のごみ焼却場では処理出来ないため、市内の各業者は苦慮している。市としてその実態を調査し、広域的な問題として取り組む考えはないか。

答 一般廃棄物については市が責任を持って処理しなければならないが、事業活動によって出される産業廃棄物については、事業者自らの責任で処理しなければならないことになっている。

現在は織物組合、縫製組合等がそれぞれ三国にある県の処理施設へ運んでいるが、今後は収集・運搬等を共同事業として行い、経費を安く上げるような方法で処理してもらいたいと考えている。廃棄物についての調査は、今、商工会議所等で行っていると聞いているので、この結果をみて十分検討したい。



市が国鉄から買い受けた貨物駅跡地

地場産業育成と 企業誘致について



問 地場産業である繊維産業は新鋭機械の導入や景気の沈滞等によって、3分の1以上の機業場や撚糸工場から失業者が出て

おり、今年中には400人にも達するとさえいわれている。新しい地場産業づくりを目指し、雇用の場の拡大を図らなければならないと思うが、どうか。

企業誘致を進めるため、企業誘致条例を制定すると聞いているがどのようになっているのか。

答 退職者数については担当課で調査をする予定であるが、失業保険を受ける人が増えているということは聞いている。これは企業の合理化・機械化によるため、中高年齢者が多いようだ。

当市に進出する企業に対しては出来るだけ優遇策を考えたいし、既に進出している企業についても利便を図りたい。誘致条例については委員会等で検討願いたい。

入札制度の 改善について

問 現在、公共事業の入札は指名競争入札で行っているが、一般競争入札にする考えはないか。指名競争入札を続けるならば、話し合いや調整の余地を残さないために業者の数を増やしてはどうか。

また、当市は設計委託をしているが、設計業者と資本関係や役員関係のある請負業者を排除する必要があると思うが、どうか。

入札結果を広報紙で市民に知らせる予定はないか。

答 一般競争入札にすると数多くの業者が応募することになり、価格は安くなるかも知れないが、能力以上の仕事を確保しても工事上問題があるので、土木工事については指名競争入札が妥当だと考えている。

指名業者の数を多くしても同じことがいえるので、工事に応じて臨機応変に対処したい。

設計業者と工事施行者の関係については十分注意し、調査をしたい。入札結果については、昨年かから庁内の掲示板に掲示しているので、今のところ市報に掲載することは考えていない。



入札結果を見入る市民



青々と生長している美田

農政問題について

問 深刻な米不足の状況下にあるにもかかわらず、国は減反政策を進めたり、食糧米の半値近くで他用途米を生産させたりしているが、これについて市長はどのように考えているのか。

荒廃農地を活用するために、ゼンマイの人工栽培が適していると思うが、試験場を設けて手掛ける意志はないか。



農村婦人の地位向上について、どのような取り組みをしているのか伺いたい。

答 国は米の過剰に対して水田利用再編対策を進める一方、外国からの米の輸入を阻止するために、今年から他用途米を導入した。国は国民の食糧を確保しなければならないが、農政は大変むずかしく理解しにくい点がある。

山村地帯の遊休農地の活用については、森林組合や農業協同組合等と共に調査して、出来ることなら対応したい。

農村婦人の地位向上については各公民館や集会所等を利用し、いろいろな角度から研修されている。今後も公民館を通じて指導したい。

7月臨時会

図書館新築工事 請負契約を可決

第213回臨時会は7月9日招集され、会期を1日と定めた後、市長提案の「大野市図書館新築工事請負契約について」を慎重に審議しました。その結果、全会一致で可決されました。

大野南部圃場再整備事業 における地下水の変動について

問 大野南部圃場再整備事業が本年度から着手されるが、この地域は市街地の地下水かん養地帯になっている。この事業が地下水にどのような影響を及ぼすか不安であるが、どのように指導するのか。

答 再整備事業によって地下浸透に影響し、地下水が変動することは想像される。水源かん養について、よい方法がないか十分調査・研究したい。

ごみ問題について

問 市はごみ収集業務の民間委託を考えているが、委託すると公害になるごみが一般のごみと一緒に焼却場へ運ばれたり、埋め立て地へ持ち込まれる可能性が多くなるのではないかと。環境に悪い影響を与える恐れはないか。

答 業者が自己の営利ばかりを追求すると、公害等についての対応が不十分になる恐れはある。

そういうことのないように厳しく指導・監視をしたい。



現在の不燃物埋め立て地

請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願1号	森目小学校舎の早期改築について	森目区長 松田市郎右エ門 外10名	採 択
請願2号	市道編入について	庄林区長 川瀬 武夫 下中野区長 西脇 敏乃	採 択
請願3号	用水の保全管理について	上篠座区長 清水 巧 外14名	採 択
請願4号	春日1丁目上・中区境界に係る側溝改修について	春日1丁目上区長 田中正守 春日1丁目中区長 東野 太	採 択
請願5号	国鉄保有地(遊休地)の払い下げについて	富田地区区長会長 南 正雄 外17区長	採 択
請願6号	富田幼稚園新園舎建設について	富田幼稚園PTA 代表 林 小太郎 富田地区区長会 会長 南 正雄 五箇地区区長会会長 田 莉子利一 外176名	採 択
請願7号	清掃業務の一部業者委託に反対し学校給食炊飯施設充実改善について	大野地区労働組合協議会 会長 白崎貴一郎 外10,263名	継続審査
陳情4号	生活改善センター建設補助について	下舌区長 斉藤 幸雄	採 択
陳情5号	集落センター建設補助について	野中区長 廣田 豊	採 択
陳情6号	市道認定について	中野町1丁目区長 徳佐 五市	採 択
陳情7号	鉄骨加工業者の経営安定化について	大野鉄工金属協同組合 代表理事 安間 利夫	継続審査
陳情8号	市道昇格について	新庄区長 尾崎 暉雄	採 択
陳情9号	城町集会所建設について	城町1区長 中村 正雄	採 択
陳情10号	市発注の諸施設について置に関するものの分離発注について	大野畳同業組合 組合長 畳谷 剛	継続審査
陳情3号	地下水の管理体制の強化と施行について	錦町4-36 中村 雄次郎 外14名	継続審査
陳情22号	市道東中・北御門・稲郷線の拡幅と北御門バイパス道路建設について	上庄地区区長会長 上田 範男 外7名	採 択

委員会報告

各委員長報告から

●建設委員会

①青少年旅行村について

佐開地区に建設される青少年旅行村については、市当局として市民に負担のかからないように、今後とも県および国と十分協議し、慎重に対処するよう要望した。

②馬清水用水の保全管理について

馬清水用水内に点在する官地を調査し、市が払い下げを受けるなどの措置を講じ、環境整備や管理保全を適切に行うよう要望した。

●産業経済委員会

①企業誘致について

若者が定着する魅力あるまちづくりの実現を図るためには、企業誘致が市政の最優先課題である。

基幹産業が未曾有の不況下にあり、雇用状況も厳しいので、既存地場産業の振興を図るとともに、



佐開に造成中の青少年旅行村テニスコート

誘致企業を育成するため、企業立地推進本部の積極的な取り組みと事務局職員の充実を図らなければならない。さらに、新しい企業の誘致に向けて、土地提供者に対する税の優遇措置を講ずるなど、全力を挙げて対処するよう要望があった。

②市営バス白山線の運行について

この路線は白山国立公園に通じており、沿線には名所が多く観光資源の宝庫でもある。

今後さらに積極的に施設を整備し、観光PRに努めるとともに、山林事業を開発し産業を促進して地域住民のバス利用増を図るための諸施策を講ずるなどの要望があった。

●総務委員会

①城町集会所の建設について



城町1区から陳情のあった集会所については、他町内が利用する

場合に利便上の問題があるが、この集会所は亀山公園および大野城を訪れる人々の休憩所的な役割も含めて考えるべきであるとの要望があった。

●教育民生委員会

①下庄小学校の既存校舎の改築工事について

子供の教育に支障をきたさないように配慮するため、夏休み期間中に工事が完成するよう適切な指導をすべきであるとの要望があった。

②青少年問題協議会のあり方について

青少年問題協議会の役割・性格等を十分踏まえ、青少年健全育成推進会議と有機的な連携を図り、地域青少年の健全育成推進に全力を挙げるよう要望があった。



この程増築された日本コンデンサ大野工場(手前)